

5年後に“なったらいいな”こんな南アルプス市

「お互い様」で協力し合える街になればいいな

様々な立場の人がつながり、理解し合えるといいな

子供から大人までが、「ふくし」の事を考えられる街がいいな

どんな人にも自然に手を差し伸べられるようになったらいいな

身近で寄り添いや支えあいが出て、それが当たり前地域になればいいな

隣近所のつながりが大きな南アルプス市に変える！

買い物や通院など、皆が困らない街

「地域支えあい協議体」を誰もが知っている街

南アルプス市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らし続けられる地域をめざし、地域福祉活動計画にもとづく取り組みを進めています。高齢者や障がいのある方、子ども・子育て家庭など、さまざまな人がつながり支えあえるよう、見守り活動や相談支援、地域の居場所づくり、ボランティア活動の促進に地域の皆さまと協働して取り組んでいます。これからも多様な声を聴き、地域課題を共有しながら、「このまちで暮らしてよかった」と感じられる地域づくりを皆さまとともに進めていきます。



社会福祉法人 南アルプス市社会福祉協議会

〒400-0332 山梨県南アルプス市鏡中條1642-2
(旧若草健康センター)
TEL: 055-283-8711 FAX: 055-283-4167



ホームページ



Facebook

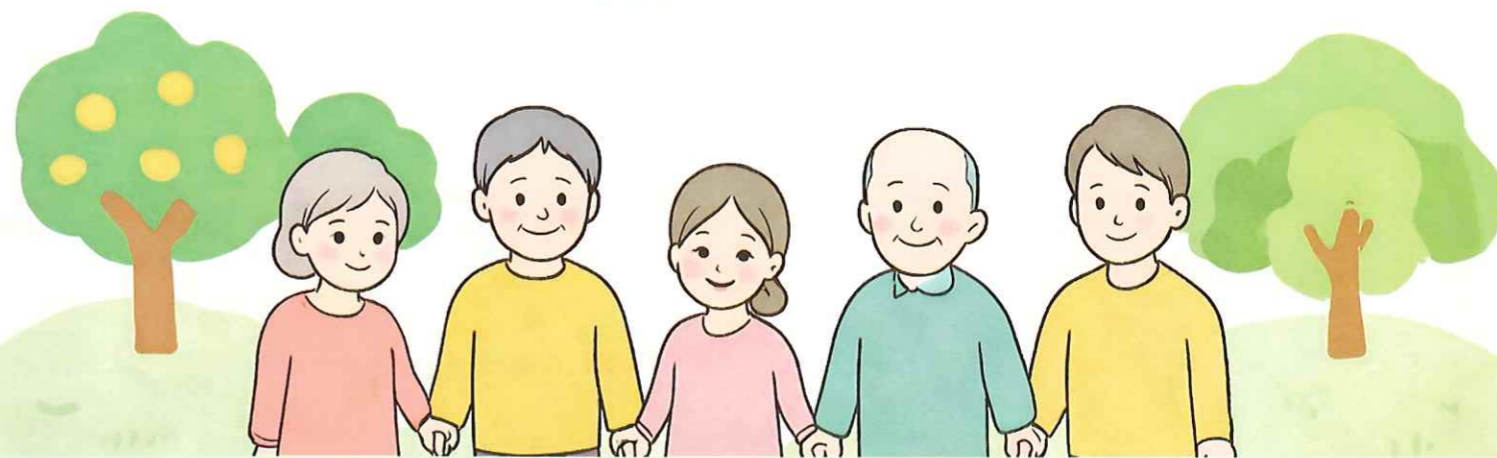


MINAMI.ALPSHAKYO_OFFICIAL

この印刷物の発行には、社協会費と赤い羽根共同募金が使われています。

第5次 南アルプス市 地域福祉活動計画 ダイジェスト版

わたしがつくる みんなでつくる
住民自立のまち



《計画期間》

2025年度～2029年度

「南アルプス市地域福祉活動計画」ってなに？

誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、南アルプス市に住んでいる人やボランティアさん、福祉の仕事をしている人、困りごとを抱えている人など、さまざまな人たちが力を合わせて、地域の困りごとや課題に対して、実際にどんなことができるかを考えたものが「地域福祉活動計画」です。



南アルプス市地域福祉活動計画策定委員会
南アルプス市社会福祉協議会

基本理念

「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」

ステップ方式で進める地域福祉

第5次地域福祉活動計画では、「気づきからつながり」を共通テーマに掲げています。それぞれの地域によって活動内容や関心度には差があり、すでに取り組みが進んでいる地域がある一方で、活動の周知や理解がこれからの地域もあります。こうした多様な地域の状況に応じて、段階的に意識の変化を促すことが必要です。

そのために、「ステップ方式」を導入し、誰もが取り組みやすくなるように工夫しています。それぞれの立場や現状を各ステップに当てはめることで、自分にできることを具体的に考え、行動に移しやすくなることを目指しています。

地域の支えあいは、
こんなふうにつながっています



ステップ① 気づく前

目標
「ふくし」って何？具体的に知ろう

ステップ② 気づく

目標
まわりの変化に気づこう

ステップ③ 伝える

目標
「気づき」を身近な人に伝えよう

ステップ④ 分かち合う

目標
それぞれが気づいた地域のことをみんなで話そう

ステップ⑤ つながる

目標
自分ができる役割を見つけ行動しよう

ステップ⑥ 続く

目標
つながりを大切に、支えあいを続けよう

ステップ1～6を意識することで、次の取組みを考える事ができます。ステップは駆け上がるだけでなく、時には戻り、また進むを繰り返します。それぞれの状況にあわせた活動の指標にもなります。

① 気づく前

「ふくし」とは、特別なことではなく、私たちの日常のつながりやしあわせのこと。まずは身近なふくしに気づくことが、安心して暮らせる地域への第一歩です。

② 気づく

私たちの身近には、困りごとを抱えている人がいるかもしれません。まわりに関心を持ち、小さな変化に気づくことが大切です。気づき合い、理解し合うことで、誰もが安心して暮らせる地域になります。

③ 伝える

身近で感じた小さな「気づき」を、家族や友人など身近な人に伝えることが大切です。困っていることでも、良かったことでも伝え合うことで、一人で悩まずにすみ、支えあいの輪が広がっていきます。

④ 分かち合う

困りごとや変化に気づいたら、他人事にせず「自分のこと」として考えることが大切です。地域の中で気軽に話し合い、相談し合うことで、よりよい気づきや解決につながり、誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながります。

⑤ つながる

地域の困りごとをみんなで話し合い、「できること」を持ち寄って行動する段階です。一人ひとりの力を無理なく活かすことで、支えあいの輪が広がり、誰もが住みやすい地域につながります。

⑥ 続く

地域の人たちが世代や分野をこえて、日常的に「お互い様」の気持ちで支えあう段階です。普段の何気ないつながりが、災害や病気などの緊急時にも自然な助けあいにつながります。誰もが安心して暮らせる地域のために、身近な人や地域に関心を持ち、ゆるやかにつながり続けることが大切です。

ひとりの気づきが、地域を大きく変える力になります。



ボランティア情報誌



ふくし教育：授業



地域のサロンの風景



地域の協議体の集まり



地域の交流イベント